

# 飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成26年度事業)

## <目次>

1 はじめに	1
2 点検評価の基本方針	1
3 飯能市教育行政の重点施策について	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価	24
5 教育委員会の活動状況と評価	26
6 評価会での駿河台大学教授（学識経験者）の意見等	29
7 おわりに	29
※ 資料（各所属の評価結果）	30

平成27年8月21日

飯能市教育委員会

## 1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成26年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

## 2 点検評価の基本方針

### （1）目的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

### （2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、平成27年7月24日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

## <飯能市教育行政の重点施策の評価会>

開催日：平成27年7月24日（金）

開催場所：飯能市役所本庁舎別館 会議室3

出席学識経験者：駿河台大学

経済経営学部教授 池野 秀弘 氏

経済経営学部教授 市川 紀子 氏

### 3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成26年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定め  
ました。

なお、重点施策の該当項目の最後に、各所属が掲げている平成26年度の事業名と  
結果を表記しました。

## <平成26年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

目 標 「飯能を愛し、夢や希望をもち明るく元気に学び実践する人づくり」

合 言 葉 「共育」 —自主・責任・連携—

基本方針

- |     |                                           |
|-----|-------------------------------------------|
| I   | 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。                     |
| II  | 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます。                     |
| III | 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した<br>教育に取り組みます。 |
| IV  | 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます。                  |
| V   | スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます。                  |

# I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます

## 1 生きる力を育む教育指導の充実

### (1) 確かな学力を育む教育の充実

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
  - ・ K4<sup>\*</sup>の視点による研修システムを確立し、授業改善を進めます。
  - ※K4とは、授業改善の視点として「課題・活動・確認・価値（K4）」4つの「K」を明示したものである。
- ② 学習状況を把握し改善に向けた取組の推進
  - ・ 「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	学力の向上	<達成率90%>	<B評価>
事業名	H21からの継続目標 学力向上プロジェクトの推進	○K4KID研修プログラム20校（90%）実施 ○飯能西中20回研究授業実施・43人指導者派遣 飯能西中学力向上リーフレット・ドリル作成配布	学力向上に関する取組みは期待どおりであり、またK4KID研修の実施率も90%であり概ね期待どおり。

- ③学習習慣形成の推進
- ④学校間交流の推進

### (2) 社会の変化に対応した教育内容の充実

- ① 伝統と文化を尊重する教育の推進
  - ・ 郷土館や図書館と連携し、郷土を愛する教育を進めます。
  - ・ 地域の人材を活用した授業等をとおして、郷土を愛する教育を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	飯能を好きな（誇りに思う）児童の育成	<達成率82%>	<C評価>
事業名	H23からの継続目標 郷土を愛する教育の推進	○「私が誇るふるさと飯能」の活用5年91%・6年87% ○飯能を好きな児童5年68%・6年63%	飯能を好きな児童が目標に達しなかったため、やや期待を下回る。

- ② 国際理解教育の推進
  - ・ 姉妹都市ブレア市との交流をはじめ、豊かな国際性を身に付ける国際理解教育を進めます。
  - ・ 小学校においてAET等を活用し、外国語やその文化などに親しむ教育を進めます。
- ③ 環境教育の推進

・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。

④ 情報教育の推進

・テレビ会議システムなど、教育機器を活用した授業づくりを進めるとともに、情報モラルの育成を進めます。

⑤ キャリア教育の推進

・生き方指導としての進路指導・キャリア教育を進めます。  
 ・K4-KID\*宣言に基づき、図書館との連携を深め、読書好きな児童生徒の育成を進めます。

※K4-KIDとは、学校と家庭・地域が連携して取り組むことを目指した飯能市独自の学力向上のための宣言。K4と家庭での取組KID（家庭学習・あいさつ・読書）を明示した。

(3) 心の教育の充実

① 人権教育の推進

・すべての教育活動において、基本的人権の視点に立った教育を進めます。  
 ・飯能市いじめ防止推進基本方針を策定し、「飯能市いじめゼロ子ども会議」をはじめ、いじめ根絶に向けた取組を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		いじめ防止基本方針に基づいたいじめの根絶	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	新規事業		○飯能市いじめ防止基本方針の策定 ○全校の学校いじめ防止基本方針の策定・実施 100% ○いじめ認知件数（解消率） ・小18件（100%） ・中3件（100%） 小中計21件（100%）	いじめ防止基本方針をそれぞれ策定・実施でき、期待どおり。
事業名	いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進			

② 道徳教育の推進

・「おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう」というあいさつと感謝の言葉がかわせるような子どもの育成を進めます。  
 ・道徳教育推進教師を中心とした、学校教育活動全体での道徳教育を進めます。

③ 教育相談活動の推進

・児童生徒一人ひとりに応じた生徒指導・教育相談を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		不登校児童生徒の減少	＜達成率99%＞	＜B評価＞
事業名	H25からの継続目標		○不登校児童生徒数（在籍率）【前年比】 ・小16人（0.43%） 【増0.2%】 ・中42人（2.2%） 【減0.23%】 小・中計58人（1.04%） 【増0.07%】	不登校児童・生徒の減少に向け連携して取り組むことができ、中学校では前年比で減少した。しかし全体では増加であったので概ね期待どおり。
事業名	不登校の減少に向けた取組の推進			

- ④ ボランティア・福祉教育の推進
  - ・ボランティア・福祉教育にかかわる教育活動を進めます。
- ⑤ 特別支援教育の推進
  - ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育を進めます。

#### (4) 健康・体力の増進と安全教育の充実

- ① 健やかな体を育む教育の推進
  - ・「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、子どもの生活リズムの向上を進めます。
  - ・体力・健康に関する指導について研究を実践し、その成果を各学校に広め体力向上を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		体力の向上	＜達成率99%＞	＜B評価＞
事業名	H20からの継続目標 体力向上の推進		○新体力テストABC児童生徒の割合 小80.7% 中84.5%	達成指標にわずかに届かなかったが概ね期待どおり。

- ② 安全教育の推進
  - ・自他の生命を尊重する安全教育を進めます。
  - ・地域と連携し、児童生徒の防災意識の向上と「状況適応能力」を育成する防災教育を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		防災教育における児童生徒の「状況適応能力」の育成	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	H25からの継続目標 児童生徒の「状況適応能力」を育成する防災教育の推進		○防災についての保護者への働きかけ 6校 ○避難訓練の改善 14校 ○低学年児童への指導の改善 2校 提言実施校22校 (100%)	各校で防災意識が高まり、全校で提言が実施できたため期待どおり。

- ③ 食育の推進
  - ・学校給食における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

## 2 幼稚園・学校経営の充実

### (1) 特色ある幼稚園・学校づくりの充実

- ① 学習林活用教育の推進

- ・すべての学校で学習林を活用した学習を進めます。【再掲】
- ② 小規模校の特色を生かした教育の推進
  - ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。
- ③ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
  - ・学校応援団を活用し、学校・家庭・地域が連携した教育を進めます。
- ④ 総合的な学習の時間の推進
  - ・地域の人材や施設を活用した教育活動を進めます。
- ⑤ 学校評価システムの推進
- ⑥ 学校施設の有効な活用の推進
- ⑦ 地域との交流を生かした幼稚園教育の推進
  - ・幼小中学校・家庭・地域の連携により、名栗幼稚園の特色ある教育を進めます。

## (2) 校種間連携の充実

- ① 幼稚園、保育所、小学校の連携の推進
  - ・幼保小の連携体制を確立し、校区の課題を明確にした取組を進めます。
- ② 小学校、中学校の連携の推進
  - ・中学校区単位で、教育課程に位置付けた小中連携教育、小中一貫的な教育の取組を進めます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター	「連携型」小中一貫教育の推進	＜達成率100%＞	＜A評価＞
<div style="background-color: #00aaff; color: white; padding: 2px;">H25からの継続目標</div> 事業名 中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進		○連携事業のまとめの作成 ・中学校区での兼務発令による外国語学習を中心とした連携方法の確立 ・いじめ防止に向けた取組による中学校区連携の進展 ・目指す児童像を共有した行事の位置づけの実施	3中学校区で特色ある取組が発展し、期待どおり。

- ③ 中学校、高等学校の連携の推進
  - ・市内高等学校への上級学校訪問、中学校への出前授業を進めます。

## (3) 小規模校における教育活動の充実

- ① 小規模校の特色を生かした教育の推進
  - ・恵まれた環境と少人数の良さを生かした教育を進めます。【再掲】
- ② 小規模特認校制度の推進
  - ・特色ある教育を進めるとともに、制度の周知方法を工夫し、制度の利用増を

図ります。

③ 複式学級設置校の教育課程の工夫の推進

- ・「わたりの授業」についての実践研究を進めます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
学校教育課・教育センター		「わたりの授業」の 実践研究	＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	新規目標		○研究のまとめ作成 ・複式教育研修会による 複式教育への理解の向上 ・授業研究実施により、 「わたりの授業」の課題 の明確化	複式教育研修会の実施 及び複式学級のある全 校での校内研修が充 実・発展し、期待どお り。
	「複式学級」の授業 改善			

### 3 教職員の資質の向上

#### (1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

- ① 若手教職員育成のための研修の推進
  - ・実践的指導力の育成を図る研修を計画的に進めます。
- ② 職責に応じた研修の推進
  - ・職責、ライフステージに応じた研修を計画的に進めます。
- ③ 教育課題解決のための研修の推進
  - ・不登校を減少させるための研修を重点的に進めます。
- ④ 視野を広めるための研修の推進
- ⑤ 外部機関との連携による研修の推進
  - ・市内の大学と連携し、専門的な指導力の向上を図る研修を進めます。

#### (2) 人事評価制度の充実

- ① 教職員評価システムの推進
  - ・管理職に対する人事評価に関する研修を充実し、教職員評価システムの信頼性を高め、学校の活性化を進めます。



## Ⅱ 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます

### 1 学校施設の整備

#### (1) 学校施設の整備の推進

##### ① 校舎等の耐震化の推進

- ・飯能西中学校校舎、加治小学校・吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施します。また、加治中学校校舎、飯能第一小学校・加治東小学校・飯能第一中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行います。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	飯能西中学校校舎、加治小学校及び吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、加治中学校校舎、飯能第一小学校、加治東小学校、飯能第一中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	<b>&lt;達成率95%&gt;</b> ・飯能西中学校校舎、加治小学校及び吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事は吾野中の工事に遅れはあったものの3月中に完了した。 ・設計業務委託では、加治中学校校舎、加治東小学校および飯能第一中学校の屋内運動場については多少の遅れが見られたが3月中に完了した。ただし飯能第一小学校屋内運動場については、構造計算が適正であるとの判定委員会による判定が下りなかったためH27年度に設計業務を繰越した。	<b>&lt;B評価&gt;</b> 予定していた工事・設計が一部繰越となったが、概ね完了したためほぼ期待どおり。
H20からの継続目標			
事業名	小・中学校耐震補強改修事業		

##### ② 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ・双柳小学校プール塗装改修工事等を実施します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な改修を行う。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・夏休み工事として、加治中学校・美杉台中学校給食室給湯器取替え工事等を実施した。 ・双柳小学校プール塗装等改修工事、美杉台小学校空調機の修繕は予定どおり完了した。また美杉台中学校の空調機修繕は当初工期よりやや遅れたが3月中に完了した。	<b>&lt;A評価&gt;</b> 予定していた工事が完了したので期待どおり。
H25からの継続目標			
事業名	小学校施設管理事業 中学校施設管理事業		

##### ③ 社会の変化に応じた学習環境の整備

- ・平成26年度から美杉台中学校を加え、中学校4校の学校給食調理業務の民

間委託を実施し、安心・安全な給食の提供を行います。また、平成27年度から3施設に民間委託を導入します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	美杉台中学校を加えた4校の給食調理業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成27年度から西川給食共同調理場ほか2施設に民間委託を導入する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・4校の給食調理業務委託は概ね順調に進めることができた。 ・問題点を指摘し、改善を図った。 ・西川給食共同調理場ほか2施設については、7月までに教職員、保護者への説明会を行った。 ・12月に業者を決定し、一般職非常勤職員への求人説明会を実施するなど4月の契約に向けて準備を整えた。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 委託に向けて計画どおりに進めることができたため、期待どおり。
H23からの継続目標			
事業名	学校給食運営事業		

## 2 就学援助の推進

### (1) 就学援助の推進

#### ① 利用しやすい奨学金制度への見直し

- ・奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より減らします。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
教育総務課	奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より170万円減らす。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・未納になっている者に電話、文書による督促を行った。 ・通知等に返答がない者については、連帯保証人に対し督促を行った。 ・年度末の未納額は15,980,614円で、前年同日に対して1,274,500円減少した。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 返還請求により未納額を減額できたので期待どおり。
H24からの継続目標			
事業名	奨学金貸付事業		

#### ② 高額な通学費への支援

- ・保護者負担を軽減するための「飯能市高等学校等通学費補助金」を実施します。

### Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組めます

#### 1 家庭教育・地域教育の推進

##### (1) 家庭教育・地域教育の推進

###### ① 家庭の教育力の向上

- ・ K4KID宣言に基づき、読書活動を重点に、学校と家庭が連携した学力の向上の取組を推進します。【再掲】
- ・ 感謝の心を育み、あいさつと早寝早起き朝ごはんの習慣が身につくよう取り組みます。

###### ② 地域での子どもの自立支援

###### ③ 自然と共生する学習機会の充実

- ・ 「子ども大学はんのう」を開催し、自然を生かした体験学習の機会を提供します。

## IV 「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます

### 1 生涯学習推進体制の整備

#### (1) 学習環境の整備

- ① 学習施設の整備
- ② 学習情報の提供

・市の広報やホームページのほか地元新聞やケーブルテレビ等を活用し、幅広く学習情報を提供します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
図書館	利用者の調査・研究活動を支援するため、各種資料の充実を図るとともに図書館WEBサイトを活用した情報発信や駿河台大学と連携して図書館情報を提供する。	<b>&lt;達成率95%&gt;</b> ・新図書館の3月末までの受入れ冊数は7,214冊だった。 ・WEBサイトは年間50回以上更新し目標を達成した。 ・駿河台大学メディアセンターと市立図書館に各館紹介コーナーを設置した。 ・現計画の内容の見直しに着手した。平成25年度の実績評価を行い、評価指標の見直しを行った。	<b>&lt;B評価&gt;</b> 情報提供については目標を達成したため概ね期待どおり。
H25からの継続目標			
事業名	資料・情報提供の充実		

#### (2) 生涯学習ネットワークの構築

- ① 教育機関との連携

・市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

### 2 生涯学習機会の充実

#### (1) ライフステージに応じた学習機会の充実

- ① 多様な学習機会の充実

・市の専門的知識を提供することにより、市民の生涯学習の一助とするとともに市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。

- ② 公民館活動の充実

・地域ニーズや地域の課題を捉えて、地域資源の活用などによる講座を開催します。

・生涯学習の推進のため、地域ニーズに合った情報発信を進めていきます。

・学校や地域の各団体などとの連携による講座を開催します。

・健康増進のため、野菜を活用した食育講座の開催やウオーキング講座による

ウォーキング人口の拡大を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		地域ニーズや地域の課題を捉えて、地域資源の活用などによる講座を開催する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 学級講座の充実		地域の課題・要望を捉えた事業を各館で1回以上実施した。特に、加治地区では3館が連携し事業を開催している。	予定した事業を実施できたので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		生涯学習の推進のため、地域ニーズに合った情報発信を進める。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名	H22からの継続目標 学習相談体制の充実		「公民館だより」は各館とも毎月1回発行した。また、ホームページによる情報の発信もそれぞれの館で工夫を凝らし実施した。	目標を達成できたので期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		学校や地域の団体などとの連携による講座を開催する。また、トレーニングキャンプを全館で実施する。	<達成率95%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 学校との連携		前期では進めていなかった、各地域内の小中学校との防災連携については、全館で動き始めた。また、トレーニングキャンプについては、当初予定していた館で実施することができた。	トレーニングキャンプを当初予定した5館で実施できたのでほぼ期待どおり。
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
公民館		健康増進のため、野菜を活用した食育講座の開催やウォーキング講座によるウォーキング人口の拡大を図る。	<達成率97%>	< B 評価 >
事業名	H22からの継続目標 健康増進講座の充実		ウォーキングマップを活用した事業については、全館で実施できなかった。健康チェックについても全館では実施できていない。また、新規参加者は、目標の500人を大幅に上回る912人であった。他の公民館との共催や公共交通機関の活用も行った。野菜3倍の関係では、グルメコンテストを全館で実施し、好評であった。	健康チェックを全館で実施できなかったが、新規参加者の目標は達成できたため概ね期待どおり。

### ③ 図書館活動の充実

- ・課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。
- ・郷土館、議会図書室などと連携し、利用者の調査・研究活動を支援します。
- ・飯能に関するニュースを収集・整理して公開します。
- ・資料の貸出・返却ができる場所を増やします。
- ・「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組計画の実践と推進をします。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		郷土館及び議会図書室と連携し、利用者の調査・研究活動を支援するため、カーリルタッチを活用して情報を提供するとともに、業務に役立つ図書情報を提供する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b>	<b>&lt; A 評価 &gt;</b>
事業名	H25からの継続目標  郷土館・議会図書室との連携			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		飯能に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	<b>&lt;達成率90%&gt;</b>	<b>&lt; B 評価 &gt;</b>
事業名	H25からの継続目標  飯能に関するニュースの収集と発信			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		利用者の利便性の向上を図るため、資料の貸出や返却ができる施設や場所を増加させる。	<達成率95%>	< B 評価 >
事業名	新規目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市との相互利用協定を締結し、サービスを開始した。</li> <li>・飯能駅サービスコーナーでの本の返却については関係部署と協議中。</li> <li>・移動図書館の駐車場を3箇所増加した。</li> </ul>	青梅市との相互利用を開始するなどサービスの拡充が図れたため概ね期待どおり。
	図書館サービスを提供する施設・場所の充実			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		幼児・児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもってもらうために、「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所などと連携して読書活動を推進する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名	H25からの継続目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館見学23団体、出前講座6団体を実施した。</li> <li>・調べ学習のための団体貸出を41回行った。(調べ学習用図書セット6回、それ以外35回)</li> <li>・現計画の内容見直しの検討に着手した。</li> </ul>	学校図書室等との連携を図り、目標を達成したため期待どおり。
	学校図書室等との連携			

#### ④ 世代別学習機会の充実

- ・子どもの学ぶ力や生きる力の向上と大学との連携による地域の教育力の向上を目的に、子ども大学はんのうを開催します。開催にあたっては、学生スタッフが関わるなどの世代間交流を図ります。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課		子どもの生きる力を伸ばし、大学との連携による地域の教育力の向上のため、新しい学びの場として子ども大学はんのう(第1期)を開催する。	<達成率100%>	< A 評価 >
事業名	H25からの継続目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期全日程を終了し、66人に修了証を交付した。</li> <li>・アンケートの結果、参加者全員が満足したという回答をし、また参加したいという意見が多かった。</li> <li>・保護者も良い経験をさせてもらった、また参加させたいという意見が多かった。</li> <li>・実行委員会において、来年度のプログラムを決定した。</li> </ul>	予定どおり開催できたため、期待どおり。
	子ども大学はんのう(第1期)の開催			

## (2) 現代的課題に関する学習機会の充実

### ① 人権に関する学習機会の充実

- ・ 様々な人権問題についての理解を深めるための講座を開催するとともに、地域で人権意識の高揚と啓発を行うための指導者養成を図ります。
- ② 環境問題に関する学習機会の充実
- ③ 安心して暮らすための学習機会の充実

### 3 地域学習の充実

#### (1) 地域学習の推進

##### ① 教育機関との連携

- ・ 市民の多様な学習ニーズに応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。（再掲）

##### ② 自然体験活動の推進

- ・ 「子ども大学はんのう」を開催し、自然を生かした体験学習の機会を提供します。

#### (2) 市民文化活動の推進

##### ① 市民文化活動の奨励

- ・ 市民の文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人・団体に対して文化スポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。
- ・ 市民の文芸創作活動を促すとともに、市民文化の向上を図るため、文藝飯能を刊行します。また、市民を対象に文芸入門講座を公民館・図書館と共催で開催します。

##### ② 文化施設の活用

#### (3) 自然・歴史・文化遺産の継承と活用

##### ① 地域資料の調査、保存と活用

- ・ より多くの市民が文化財に対して関心を持っていただけるように刊行物や文化財めぐり、文化財講座を開催し、普及啓発を図ります。
- ・ 市指定文化財である店蔵絹甚の外壁改修工事を行い、文化財を保存し、活用の充実を図ります。
- ・ 埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、出土品の展示や貸出、小・中学校への出張授業、市民講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受け入れなどを積極的に実施します。
- ・ 埋蔵文化財の発掘調査現場において、普及・啓発活動の一環として、出土品や調査の実施状況を記した案内表示板を設置して市民への周知活動の充実を図ります。



関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			<達成率90%>	< B 評価 >
事業名	新規目標	市指定文化財である店蔵絹甚の保存活用のため、未改修部分の西側外壁やうだつ等を改修する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年10月3日、工事代金の精算払いが完了。</li> <li>・市指定文化財である店蔵絹甚のPR方法について検討。</li> <li>・まちなかにある文化財を周知し、より多くの方が訪れてもらえるように、次年度リーフレットを更新する。</li> </ul>	今後PR方法について検討の余地があるが、概ね期待どおり。
	店蔵絹甚外壁改修等工事の実施			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			<達成率90%>	< B 評価 >
事業名	H24からの継続事業	<p>年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。</p> <p>これまでに発掘調査を実施し、報告書刊行計画を立てている室内調査については、可能な限り前倒しで調査を進める。</p> <p>民間や個人等の開発についても、臨機応変に対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業関連の発掘調査は担当課と調整し、年度内に終了すべき範囲は終わることができた。</li> <li>・民間・個人開発を原因とする試掘・発掘調査は、円滑に実施することができた。</li> <li>・報告書『飯能の遺跡(42)』を3月に刊行した。</li> </ul>	計画に調整を要したが、概ね期待どおり。
	埋蔵文化財調査の推進事業			

## ② 郷土館活動の充実

- ・特別展「機屋の挑戦（仮称）」を開催し、その充実を図ります。
- ・第Ⅶ期市民学芸員（博学連携型）、第Ⅷ期市民学芸員（麦作文化探求型）をそれぞれ新規に養成します。
- ・名栗くらしの展示室を開設し、ここを利用した体験学習会等の事業を充実させます。
- ・平成27年度の武蔵野鉄道開通100周年に向けて特別展の準備を進めるとともに、大きな事業にするように市内外に働きかけます。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		まちづくりに生かすことのできる情報提供の1つとして、特別展「機屋の挑戦（仮称）」の充実を図る。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 1日平均入館者104.0人、アンケートに「展示内容がよかった」と記された割合は75%だった。入館者数はこれまでの特別展に比べてやや少なかったが、織物の品質向上や新製品の開発などに挑戦する姿を示し、飯能の隠れた歴史を伝えることができた。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 入館者数、満足度とも期待どおり。
事業名	新規目標 特別展の充実			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		市民との協働による郷土館活動をさらに充実するために、第七期市民学芸員(博学連携型)、第八期市民学芸員(麦作文化探求型)をそれぞれ養成する。	<b>&lt;達成率120%&gt;</b> 最終的に、博学連携参加型11人、麦作文化探求型18人を認定することができた。両方あわせて、当初募集定員35人の70%(24人)を超える29人を認定することができた。博学連携の追加により、小学生対応事業が充実できるとともに、麦作文化が新たに追加されたことで、活動内容が広がった。	<b>&lt; S 評価 &gt;</b> 予想以上の市民学芸員を認定でき、かつ、活動の質が広がったため、期待を上回った。
事業名	新規目標 市民学芸員の新規養成			
関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		名栗地域の資料に関する調査研究、収集保存の成果として、名栗くらしの展示室を開設し、ここを利用した体験学習会等の普及事業を充実させる。	<b>&lt;達成率90%&gt;</b> 展示室のエコツアーリズム等での利用や各種団体の視察が年間10回あった。展示室を利用した講座は2月に名栗小学校3、4年生向のものを1回、3月に子ども対象の講座を1回開催し、参加者は合計27人。いずれも目標をやや下回った。オープニングセレモニーは盛況だったが、その後の利用については、再考が必要。	<b>&lt; B 評価 &gt;</b> 講座回数、人数が目標をやや下回ったが、他の利用は多く、概ね目標を達成できた。
事業名	H25からの継続目標 名栗くらしの展示室の開設と事業展開			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
郷土館		まちづくりに生かすことのできる情報提供の1つとして、平成27年度の武蔵野鉄道開通100周年にむけて当館での特別展の準備を進めるとともに、大きな事業にできるように市内外に働きかける。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> 西武鉄道をはじめとして、関係する機関での資料調査はほぼ終了し、展示可能な資料はリスト化できた。 記念事業については12月以降企画調整課が主体となり、各課によびかけイベントの内容等を検討し始めた。27年4月12日には開業100周年のセレモニーを開催する運びとなった。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 予定していたとおりの準備ができたので期待どおり。
事業名	新規目標 武蔵野鉄道開通100周年記念事業の準備と調整			

### ③ 市民主体による地域活動の支援

- ・郷土芸能保存会による伝統芸能活動や郷土芸能講習会（おはやしフェスティバル）の開催を通して、技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民が地域の伝統文化に親しんでもらえるよう活動を支援します。

## 4 学習成果の還元

### (1) ボランティア活動への支援

#### ① ボランティアの育成と活動支援

- ・図書館ボランティアを支援し、生きがい・やりがいづくりを応援します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
図書館		図書館ボランティアの安定した組織運営が図れるように、新たなボランティアの登録や研修等の実施に対して支援する。	<b>&lt;達成率 100%&gt;</b> ・ボランティア活動説明会を実施し、ボランティアの増加につながった。 ・外部講師による講座を開催し能力向上をはかった。 ・映画会や各種講座など図書館行事の企画運営や美化活動に参加してもらうことができた。ボランティア企画の資料展や他図書館のボランティアとの交流を図った。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> ボランティア支援を行うことができたため期待どおり。
事業名	新規目標 図書館ボランティアの支援			

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			＜達成率90%＞	＜B評価＞
事業名	H25からの継続目標	青少年育成団体を把握し状況確認を行う。 青少年育成の課題共有を図り、連携事業として青少年健全育成講演会を実施する。	・健全育成連絡会において情報交換を行い、各地区の状況・課題等の情報を共有した。 ・生涯学習フェスティバルにおける青少年健全育成講演会については、地域フェスタと合同事業で講演会を開催した。	目標を達成できたため、期待どおり。
	青少年育成団体の整備と連携			

## ② ボランティア活動の場の充実

### (2) 人材の養成・団体への支援

#### ① 指導者登録制度の充実と活用

- ・市民の様々な学習要求に応えるため、生涯学習人材バンクを活用します。

### (3) 学習成果を生かすしくみの整備

#### ① 発表の場の提供・充実

- ・市民の様々な学習活動の成果発表ならびに交流の場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
生涯学習課			＜達成率100%＞	＜A評価＞
事業名	H20からの継続目標	小学生から大人までがステージ発表等の出演者及び来場者となり、世代間交流が図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	・新たな実行委員会組織により開催までの会議を重ねた。 ・駿大地域フェスタと同日開催という形で、駿河台大学を会場にして実施した。 ・地域フェスタと同日開催したことにより、駿大生などの若い世代の関わりが増加した。 ・来場者は約800人で、前年度対比46%程度であった。	来場者が増え、世代交流も図られたため、期待どおり。
	生涯学習フェスティバルの実施			

## V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます

### 1 健康体力づくり事業の充実

#### (1) 公民館を拠点とした活動の推進

##### ① 健康体力づくりの展開

- ・幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開します。

##### ② ウォーキングのまちづくり

- ・公民館を拠点としたウォーキングの取組を推進します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課 H20からの継続目標	公民館を拠点としたウォーキングの取組を強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体力づくり事業を展開する。	<b>&lt;達成率100%&gt;</b> ・バランスDE若さアップ講座については、定員を超える応募があり、会場の規模や用具の個数等を考慮し、定数以上の参加者により実施することができた。 ・体験を目的としたエクササイズウォーキングのビギナーコースについては、定員に達することはできなかったが、エクササイズウォーキング講座を継続して受講している方がウォーキングの楽しみを感じ、仲間を誘うことによりウォーキングを始める方や新たな受講者も少しずつ増えてきている。本事業を通してウォーキング人口の更なる増加が期待できる。	<b>&lt; A 評価 &gt;</b> 事業計画どおりに実施することができたので期待どおり。
事業名 ウォーキングを基にした健康体力づくりの推進			

#### (2) スポーツイベントの充実

##### ① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ・市民の参加を促すとともに、全国から訪れるウォーカーをおもてなしの心で迎え、飯能の魅力を高めていきます。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課		＜達成率100%＞	＜A評価＞
H20からの継続目標	全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツーデーマーチを実施する。また、第13回大会に向けた企画案を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース担当によるコース下見を実施し、第13回大会のコースを決定した。</li> <li>・2月に統括部会、実行委員会を開催し、参加者20,000人を目指した大会計画が決定した。</li> <li>・3月1日（土）から事前申込の募集を開始した。</li> <li>・新たな参加者の確保を目指した事業（ヤマノススメ、近隣自治体ご当地グルメ等）を第12回大会同様に開催することを決定した。</li> </ul>	関係団体等との連絡調整や各担当での協議により、安全な大会運営ができたため期待どおり。
事業名	飯能新緑ツーデーマーチ		

## ② 奥むさし駅伝競走大会

- ・市民のスポーツ意識の向上を図るとともに、競技性の高い魅力的な大会を目指します。

関連する事業	目 標	達成報告	評 価
体育課		＜達成率110%＞	＜S評価＞
H20からの継続目標	安全で競技性の高い第12回奥むさし駅伝競走大会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出場チームの上限220チームに対し、252チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。</li> <li>・事務改善や経費削減の観点から募集要項はホームページからダウンロードすることとしたが、苦情等はなかった。</li> <li>・前回大会の反省を踏まえ、各部会でスムーズな大会運営の検討を行い、実施した。</li> <li>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</li> </ul>	募集要項をホームページからのダウンロードに切り替えるなど経費節減や事務改善が図れたため期待を上回った。
事業名	奥むさし駅伝競走大会		

## (3) 生涯スポーツ推進体制の整備

### ① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ・ N P O 法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。また、全国大会出場などの有望選手及び団体へスポーツ奨励金を交付し、活動を支援します。

②スポーツ教室等の開催

- ・ 市民スポーツ・レクリエーション活動を促進するため、N P O 法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツイベントを委託し、開催します。

③ホッケーのまちづくり

- ・ 「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、小・中学校のホッケー授業の充実を図るとともに、競技団体・教育委員会それぞれの主体的な取組により、ホッケーのまちづくりを推進します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。	<b>&lt; 達成率 100 % &gt;</b> ・巡回ホッケー教室 小学校：10校 中学校：6校 中学生放課後：1クラブ ・全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生は必修授業として授業を行った。 ・市HPや図書館のホッケーコーナーを活用し、『ホッケーのまち飯能』をPRした。 ・ホッケーのまち飯能推進懇話会を開催し、競技団体、学校関係者とともに意見交換を行った。 ・平成27年度開催の国体関東ブロック大会ホッケー競技の開催に向けて、準備を始めた。	<b>&gt; &lt; A 評価 &gt;</b> 中学校での授業の必修化、ホームページ等によるホッケーの周知等、計画どおりに実施することができたので期待どおり。
事業名	H 2 4 からの 継 続 ホッケーのまちづくり			

## 2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

### (1) スポーツ施設の計画的な修繕の実施

#### ① 施設修繕計画の策定

- ・ スポーツ施設の安全な運営を確保するため、修繕計画を作成し計画的に修繕を実施します。

## (2) スポーツ施設の効果的な管理運営

### ① 利用者サービスの向上

- ・利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性を向上します。

関連する事業		目 標	達成報告	評 価
体育課		都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	<p style="text-align: center;"><b>&lt;達成率100%&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と必要に応じて協議・検討を行った。</li> <li>・指定管理者と施設の安全確認（危険箇所の確認）を行った。</li> </ul>	<b>&lt; A 評価 &gt;</b>
事業名	H20からの継続目標			
		都市公園運動施設の指定管理		



## 4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

### (1) 総括

教育委員会では、平成26年度に実施した評価会での学識経験者（駿河台大学の教授）からのご意見を参考に評価の基準を見直し、平成26年度の結果から反映することとしました。

これまでは、B評価を標準的レベルとし、達成度が105%を超えないとA評価になりませんでした。しかし、今回から目標どおりに達成された場合（100%）をA評価とし、100%を超える達成率をS評価、100%ではないが概ね達成された場合（90%以上）をB評価となるよう変更しました。

平成26年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」に事業を実施できた割合は、全36事業中33事業あり、全体の91.6%を占めました。また、「期待を上回る（S評価）」が2事業ありました。一方、「達成度が目標をやや下回る（C評価）」は1事業でした。

全体としては、良好な事務執行ができたと評価できますが、C評価の事業については、目標を達成できなかった原因等を明らかにし、改善等を図る必要があります。

#### <集計表>

所管課	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	0	3	1	0	0	4
学校教育課・ 教育センター	0	4	3	1	0	8
生涯学習課	0	2	3	0	0	5
体育課	1	4	0	0	0	5
図書館	0	3	3	0	0	6
公民館	0	2	2	0	0	4
郷土館	1	2	1	0	0	4
事業数合計	2	20	13	1	0	36
評価の割合 (%)	5.5	55.6	36.1	2.8	0.0	100.0

(参考) 評価の基準

評価点	達成割合	説明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を(顕著に)下回る

(2) 各事業の評価状況

各所属の評価結果については、30ページ以降に掲載しています。

## 5 教育委員会の活動状況と評価

平成26年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

### 【主な活動状況】

	項 目	回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	14回	定例会及び臨時会の開催 定例会(12回) 臨時会(2回)
	教育委員会会議の傍聴者の状況	0人	
	議事録の公開、広報・広聴活動 の状況	—	議事録(概要)、会議日程を ホームページに掲載
	教育委員の研修会への参加状況	6回	「入間地区教育委員会連合会 視察研修」ほか
	学校・所管施設訪問	18か所	小学校8校、中学校3、公民館 6館、図書館

	項 目	回数等	活動内容等
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2議案	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会要綱の制定及び一部改正、又は改廃すること	0議案	
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	6議案	「飯能市教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する規則(案)について」ほか
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	10議案	「平成26年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0議案	
	人事に関すること	5議案	「平成26年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	17議案	「奨学生の決定について」ほか
	合 計	40議案	

## 【評価】

開かれた教育行政を推進するため、平成21年度から市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供に努め、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

一方、今後も平成22年度から平成27年度までの計画である「飯能市教育振興基本計画」に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局とさらに連携を強化して計画の実現に取り組んでいく必要があります。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成26年度現在の進捗状況は次のとおりです。

なお、学校教育課の「基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）」については、平成26年度は埼玉県が調査を実施しなかったためその結果及び達成度が記載できませんでした。

### 教育総務課

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
校舎の耐震化率	84.3 %	92.2 %	94.2 %	94.2%	100 %
屋内運動場の耐震化率	72.7 %	77.3 %	86.4 %	86.4%	100 %

### 学校教育課

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
基礎的・基本的な学習内容の達成率（教育に関する3つの達成目標）	95.6 % (小学6年生)	94.4 % (小学6年生)	— (小学6年生)	—	95 % (小学6年生)
	89.9 % (中学3年生)	90.5 % (中学3年生)	— (中学3年生)	—	95 % (中学3年生)
新体力テストで全国平均を上回る項目の割合	75.0 % (小学校)	56.6 % (小学校)	66.7 % (小学校)	88.9%	75 % (小学校)
	77.8 % (中学校)	63.6 % (中学校)	63.0 % (中学校)	84.0%	75 % (中学校)

### 生涯学習課

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目標値
					平成27年度
公開講座延べ参加者数	6,340人	4,633人	3,213人	40.2%	8,000人
出前講座開催件数	224件(累計)	276件(累計)	340件(累計)	200.0%	170件(累計)

体 育 課

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
スポーツ施設利用者数	325,002人	283,115人	288,640人	96.2%	300,000人
学校体育施設開放事業 における利用者数	137,573人	134,448人	143,312人	89.6%	160,000人
ツアーデーマーチ参加者数	13,072人	13,669人	18,741人	104.1%	18,000人

公 民 館

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
公民館利用者数	320,046人	301,914人	298,830人	88.2%	339,000人
公民館学習グループ数	582団体	575団体	572団体	84.1%	680団体
健康づくり推進事業数	77事業	89事業	109事業	147.3%	74事業

図 書 館

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
蔵書数	268,414冊	274,682冊	282,588冊	94.2%	300,000冊
年間貸出数	309,710冊	372,321冊	439,238冊	99.4%	442,000冊
年間利用人数	71,383人	91,761人	106,953人	108.3%	98,800人
年間児童(0～18歳) 利用人数	22,988人	28,812人	25,116人	83.7%	30,000人

郷 土 館

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成度 (%)	目 標 値
					平成27年度
ホームページアクセス 月平均件数	452.8件	470件	812件	176.4%	460件
レファレンス※件数	150件	161件	218件	109.0%	200件
資料利用件数	85件	150件	105件	80.8%	130件
資料整理件数	250件	210件	261件	113.5%	230件
出張授業受講延べ人数	443人	630人	418人	38.0%	1,100人
入館者数	28,566人	27,410人	29,431人	105.1%	28,000人

※レファレンス…利用者の求めに応じ、その調査・相談等に対し資料等を使って援助すること。

## 6 評価会での駿河台大学教授（学識経験者）の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、駿河台大学の教授2名から次のようなご意見をいただきました。

### 【評価結果と目標管理について】

- ・各所管の評価結果については、概ね妥当である。ただし、数値目標として達成していない目標をA評価とした事業があるので、その理由を明確にすべきである。
- ・継続目標が年度によって微妙に表現が変わっているところがある。同じ事業、同じ目標ならば年度間で統一した表現を用い、市民が読んだときにわかりやすくすべきである。
- ・基本方針の5本の柱のうち、「Ⅲ 地域の特色を生かした体験を重視し、家庭・地域と連携した教育に取り組みます。」はどの所管も重点施策の中に入れていない。この柱は、どの所管も関連が出てくると思われるので、いずれかの所管が必ず入れるべきである。
- ・一つの重点施策の事業を二つ以上の部署で関わっている場合は、担当している所管はすべて重点施策とした方が良いのではないか。

## 7 おわりに

今年度で8年目となる教育委員会の点検・評価ですが、毎年「飯能市教育振興基本計画」に基づき中・長期的な視点に立って、本市の教育振興のための施策を着実に実現できるように各所管が目標を掲げ、事業展開を行っております。重点施策としては評価シートに表記されていない事業も各所管で確実に進めているところです。

今回の2人の学識経験者の方から、事業評価については概ね良好あるが、評価基準と達成結果の統一性を持たせ、必要に応じて評価の理由を付すこと、また、該当する所管が飯能市教育振興基本計画の基本方針Ⅲを重点施策として位置付け、目標に掲げることなどのご指摘を受けました。

今後も教育委員会では、このようなご意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、引き続きより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

## 平成26年度 教育行政の重点施策の評価結果

## 1. 教育総務課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	教育総務課	飯能西中学校校舎、加治小学校及び吾野中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。また、加治中学校校舎、飯能第一小学校、加治東小学校、飯能第一中学校屋内運動場の耐震補強工事のための設計を行う。	・飯能西中学校校舎の工事は夏休み期間を中心に実施し、トイレの工事を先行させて授業への影響を少なくする。 ・設計については、学校・委託業者との十分な調整を図る。	・飯能西中学校校舎、加治小学校屋内運動場の工事を12月に完了させる。 ・吾野中学校屋内運動場の工事を2月に完了させる。 ・設計については、1月に完了させる。	<達成率95%>	< B 評価 > 予定していた工事・設計が一部繰越となったが、概ね完了したためほぼ期待どおり。  <今後の課題等> ・平成27年度に校舎、屋内運動場の耐震化を完了させる。 ・工事の遅れによる工期延長等がないよう学校、業者と十分な調整を行う必要がある。
	基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備 H20からの継続目標 事業名 小・中学校耐震補強改修事業					
2	教育総務課	学校施設の老朽化に伴い、緊急性や予算額を踏まえた計画的な改修を行う。	・緊急性のある改修工事を実施する。 (双柳小学校プール塗装等改修工事、美杉台小学校空調機オーバーホール修繕、美杉台中学校空調機オーバーホール修繕等)	平成26年度予算に基づき、双柳小学校プール塗装等改修工事等を計画どおりに完了させる。	<達成率100%>	< A 評価 > 予定していた工事が完了したので期待どおり。  <今後の課題等> ・施設の老朽化に伴う工事、修繕を計画的に行う必要がある。
	基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備 H25からの継続目標 事業名 小学校施設管理事業 中学校施設管理事業					
3	教育総務課	美杉台中学校を加えた4校の給食調理業務委託を円滑に進め、民間委託でも安心・安全な学校給食の提供を行う。 平成27年度から西川給食共同調理場ほか2施設に民間委託を導入する。	・民間委託を始める美杉台中学校は年度初めに試食会を行うなど、準備に万全を期す。 ・委託業者、学校との定期的な打ち合わせを行う。 ・西川給食共同調理場ほか2施設については、説明会を教職員及び保護者に対して実施する。 ・業者選定を実施し、入札により年内に委託業者を決定する。	・年間を通じて業務内容を確認し、問題点の指導、改善を行う。 ・西川給食共同調理場ほか2施設の民間委託については、年内に委託業者を決定し、平成27年度からの導入に備える。	<達成率100%>	< A 評価 > 委託に向けて計画どおりに進めることができたため、期待どおり。  <今後の課題等> ・15施設のうち7施設が民間委託となり、委託業者への指導を適切に行う必要がある。
	基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 1 学校施設の整備 H23からの継続目標 事業名 学校給食運営事業					
4	教育総務課	奨学金返還金の未納が多額になっている状況のため、未納を減らすための対策を講じて未納額を前年度より170万円減らす。	・休日返還窓口を年間3回開設するとともに臨宅徴収を実施する。 ・連帯保証人への通知を徹底する。	未納額を前年度より減少させる。	<達成率100%>	< A 評価 > 返還請求により未納額を減額できたので期待どおり。  <今後の課題等> ・引き続き未納額を減らすための対策を強化する必要がある。
	基本方針 II 安心・安全な学習環境づくりに取り組みます 2 就学援助の推進 H24からの継続目標 事業名 奨学金貸付事業					

2. 学校教育課・教育センター

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	学力の向上	○学力向上施策K4-KIDの推進 ・K4の視点による研修システムの確立 ○県教委の「地域に応じた学力向上推進事業」委嘱校の重点的指導 ・研究成果の発信 ○学習状況調査等の検証結果に基づく学習改善の推進 ・各校の課題解決に向けたきめ細かな指導・支援 ○教育機器を活用した授業づくりの推進	○研修プログラムの全校実施によるK4KID確立 ○「地域に応じた学力向上推進事業」のまとめ作成	<達成率90%> ○K4KID研修プログラム20校(90%)実施 ○飯能西中20回研究授業実施・43人指導者派遣 飯能西中学力向上リーフレット・ドリル作成配布	<B評価> 学力向上に関する取り組みは期待どおりであり、またK4KID研修の実施率も90%であり概ね期待どおり。  <今後の課題等> ○地域に応じた学力向上推進事業の他校への拡大
	事業名 H21からの継続目標 学力向上プロジェクトの推進					
2	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	飯能を好きな(誇りに思う)児童の育成	○学習林活用教育の充実 ・学習林フォーラムの継続実施 ○総合学習等、地域人材の活用による教育の推進 ○郷土館や図書館と連携した事業の実施 ○「私の誇るふるさと飯能」の活用	○飯能の良さを知り好きに思う児童80%	<達成率82%> ○「私が誇るふるさと飯能」の活用5年91%・6年87% ○飯能を好きな児童5年68%・6年63%	<C評価> 飯能を好きな児童が目標に達しなかったため、やや期待を下回る。  <今後の課題等> ○地域の人材・施設・環境を活かした取組の実施
	事業名 H23からの継続目標 郷土を愛する教育の推進					
3	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	いじめ防止基本方針に基づいたいじめの根絶	○飯能市いじめ防止基本方針の策定と実施 ○各校のいじめ防止基本方針の策定と実施 ・いじめ対策委員会の設置 ・いじめアンケートの実施 ○各校への生徒指導・教育相談に係る訪問を活用したきめ細やかな支援 ○第3回「飯能市いじめゼロ子ども会議」の開催	○いじめ防止基本方針の策定と実施100% ○いじめ解消率100%	<達成率100%> ○飯能市いじめ防止基本方針の策定 ○全校の学校いじめ防止基本方針の策定・実施100% ○いじめ認知件数(解消率) ・小18件(100%) ・中3件(100%) 小中計21件(100%)	<A評価> いじめ防止基本方針をそれぞれ策定・実施でき、期待どおり。  <今後の課題等> ○飯能市いじめ防止基本方針にそった取組の実施
	事業名 新規事業 いじめ防止基本方針に基づいたいじめ根絶の取組の推進					
4	学校教育課・教育センター 基本方針 I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 1 生きる力を育む教育指導の充実	不登校児童生徒の減少	○教育センターと学校の連携強化 ・指導員、スクールソーシャルワーカーの学校・家庭への積極的派遣 ○教育センター職員の資質向上 ・スーパーバイザーを中心とした所内研修実施 ○教育センター教職員研修の実施 ○中1ギャップ対策 ・小中連携事業の充実 ○小1プログラム対策 ・接続プログラムの実践	○不登校児童生徒の在籍率の減少(前年比)	<達成率99%> ○不登校児童生徒数(在籍率)【前年比】 ・小16人(0.43%) 【増0.2%】 ・中42人(2.2%) 【減0.23%】 小・中計58人(1.04%) 【増0.07%】	<B評価> 不登校児童・生徒の減少に向け連携して取り組むことができ、中学校では前年比で減少した。しかし全体では増加であったので概ね期待どおり。  <今後の課題等> ○不登校児童生徒減少への継続した取組
	事業名 H25からの継続目標 不登校の減少に向けた取組の推進					



No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
5	学校教育課・教育センター	体力の向上	○新体力テスト実施、分析(4・5月) ○体力向上推進委員会の充実 ・体力テスト検証結果に基づいて、各校へきめ細やかな指導 ・教職員と保護者への啓発 ○市教育研究会体育部との連携 ・授業研究会への指導主事の派遣 ○新体力テスト課題種目の再測定と評価(3学期)	○新体力テストの絶対評価で上位3ランク(A・B・C)の児童生徒の割合 小80% 中85%	<達成率99%> ○新体力テストABC児童生徒の割合 小80.7% 中84.5%	<B評価> 達成指標にわずかに届かなかったが概ね期待どおり。  <今後の課題等> ○体力向上への継続した取組
	基本方針	1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます				
	事業名	H20からの継続目標 体力向上の推進				
6	学校教育課・教育センター	防災教育における児童生徒の「状況適応能力」の育成	○防災教育検討委員会の提言を活かした防災教育の実施 ○防災マニュアルの改訂 ○関係機関との連携	○防災教育検討委員会提言の実施100%	<達成率100%> ○防災についての保護者への働きかけ 6校 ○避難訓練の改善 14校 ○低学年児童への指導の改善 2校 提言実施校22校(100%)	<A評価> 各校で防災意識が高まり、全校で提言が実施できたため期待どおり。  <今後の課題等> ○防災教育検討委員会提言の各学校での継続実施
	基本方針	1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実				
	事業名	H25からの継続目標 児童生徒の「状況適応能力」を育成する防災教育の推進				
7	学校教育課・教育センター	「連携型」小中一貫教育の推進	○南高麗中学校区・名栗中学校区の実践の継続 ・教育課程に位置付けた連携事業の実施 ○吾野中学校区での兼務発令による連携の実施 ○他中学校区での連携 ・学校担当の指導主事の訪問指導・支援	○連携事業のまとめ作成	<達成率100%> ○連携事業のまとめの作成・中学校区での兼務発令による外国語学習を中心とした連携方法の確立 ・いじめ防止に向けた取組による中学校区連携の進展 ・目指す児童像を共有した行事の位置づけの実施	<A評価> 3中学校区で特色ある取組が発展し、期待どおり。  <今後の課題等> ○連携教育の教育課程への位置付けの促進
	基本方針	1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実				
	事業名	H25からの継続目標 中学校区における9年間で育てる「子ども像」を明確化した取組の推進				
8	学校教育課・教育センター	「わたりの授業」の実践研究	○複式学級設置校での実践研究の推進(年間) ○複式教育研修会の実施 ○学校訪問を通じた授業指導の実施	○研究のまとめ作成	<達成率100%> ○研究のまとめ作成・複式教育研修会による複式教育への理解の向上 ・授業研究実施により、「わたりの授業」の課題の明確化	<A評価> 複式教育研修会の実施及び複式学級のある全校での校内研修が充実・発展し、期待どおり。  <今後の課題等> ○「わたりの授業」の実践研究2年次の実施
	基本方針	1 生きる力を育成する学校教育に取り組みます 2 幼稚園・学校経営の充実				
	事業名	新規目標 「複式学級」の授業改善				

3. 生涯学習課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうなのか)	評価/今後の課題等
1	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実	子どもの生きる力を伸ばし、大学との連携による地域の教育力の向上のため、新しい学びの場として子ども大学はんのう(第1期)を開催する。	・学生募集は、学校の協力をいただき学校をとおして行う。 ・ホームページ等でPRを行う。	・定員50人を確保し、子ども大学はんのうを開催する。(7～10月) ・第1期開催後、第2期の概要案を検討しまとめる。	<達成率100%> ・第1期全日程を終了し、66人に修了証を交付した。 ・アンケートの結果、参加者全員が満足したという回答をし、また参加したいという意見が多かった。 ・保護者も良い経験をさせてもらった、また参加させたいという意見が多かった。 ・実行委員会において、来年度のプログラムを決定した。	< A 評価 > 予定どおり開催できたため、期待どおり。
	事業名 H25からの継続目標 子ども大学はんのう(第1期)の開催					<今後の課題等> ・毎年継続していくためのプログラムや定員数などの検討。 ・講義中の児童への指導、怪我に対する対応などの検討。
2	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4 学習成果の還元	青少年育成団体を把握し状況確認を行う。 青少年育成の課題共有を図り、連携事業として青少年健全育成講演会を実施する。	・情報交換を行い情報を共有する。 ・各地区健全育成の会、自治会等から、地域の青少年育成団体の情報を収集する。 ・課題を共有し講演会のテーマを決める。	・地域ごとの青少年育成団体を把握する。 ・各団体の情報交換を実施する。 ・青少年健全育成講演会を実施する。	<達成率90%> ・健全育成連絡会において情報交換を行い、各地区の状況・課題等の情報を共有した。 ・生涯学習フェスティバルにおける青少年健全育成講演会については、地域フェスタと合同事業で講演会を開催した。	< B 評価 > 目標を達成できたため、期待どおり。
	事業名 H25からの継続目標 青少年育成団体の整備と連携					<今後の課題等> ・各地区の状況・課題など情報共有したことを、生涯学習課及び各地区の今後の事業に活かしていく。
3	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 4 学習成果の還元	小学生から大人までがステージ発表等の出演者及び来場者となり、世代間交流が図れる生涯学習フェスティバルを実施する。	・実行委員会の見直しを行う。 ・学校へステージ発表等の出演協力を依頼する。 ・学生ボランティアの協力を依頼する。	・来場者は、前年度対比30%増以上とする。(715人以上)	<達成率100%> ・新たな実行委員会組織により開催までの会議を重ねた。 ・駿大地域フェスタと同日開催という形で、駿河台大学を会場にして実施した。 ・地域フェスタと同日開催したことにより、駿大生などの若い世代の関わりが増加した。 ・来場者は約800人で、前年度対比46%程度であった。	< A 評価 > 来場者が増え、世代交流も図られたため、期待どおり。
	事業名 H20からの継続目標 生涯学習フェスティバルの実施					<今後の課題等> ・新たな取り組みとして、初めて駿大を会場にして実施をした。実行委員会を開催し、反省点を改善し、来年度さらに充実した事業とする。 ・駿河台大学との連携をさらに密にする。
4	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	市指定文化財である店蔵網基の保存活用のため、未改修部分の西側外壁やうだつ等を改修する。	・店蔵下見板張替 37㎡ ・居宅外壁張替 30㎡ ・うだつ壁ひび割れ補修 ・空調機の設置 隣接地主の承諾を得て、工事期間中の土地の借用及びフェンスの一時撤去を行う。 また、文化財保護審議委員の意見を基に、改修工事を実施する。	・建築課と協議し、上半期までに改修工事を実施する。 ・郷土館や網基運営委員会とPRや利用方法の見直しについて打合せを行う。	<達成率90%> ・平成26年10月3日、工事代金の精算払いが完了。 ・市指定文化財である店蔵網基のPR方法について検討。 ・まちなかにある文化財を周知し、より多くの方が訪れてもらえるように、次年度リーフレットを更新する。	< B 評価 > 今後PR方法について検討の余地があるが、概ね期待どおり。
	事業名 新規目標 店蔵網基外壁改修等工事の実施					<今後の課題等> ・引き続き網基運営委員会や郷土館・エコツアーと連携し、入場者数の増加に努める。 ・一度に収容できる人員も限りがあるため、年間利用者の増員や観光ルートの中で、気軽に立ち寄れるよう案内表示などを見直す必要がある。 ・リーフレットの更新やHPの充実を図る。
5	生涯学習課 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	年度当初の関連部署とのヒアリングに基づき、年間の調査計画を作成し、その計画に沿って発掘調査を実施する。 これまでに発掘調査を実施し、報告書刊行計画を立てている室内調査については、可能な限り前倒して調査を進める。 民間や個人等の開発についても、臨機応変に対応する。	・公共事業関連の発掘調査及び室内調査については、関連部署と綿密な調整を行い、各課の状況変化に対応できるように四半期ごとに計画を見直し変更しながら実施する。 ・民間や個人等の調査については、緊急に対応する必要があるため、公共事業関連と調整を取りながら、臨機応変に対応する。 ・報告書については、年度当初の計画に沿って、計画的に推進する。	・公共事業に伴う加能里遺跡、別所平遺跡の発掘調査については、関係課の計画に沿って調査を実施し、工事等への影響を最小限とする。 ・室内調査については、報告書刊行に向け年度当初の計画どおりに実施する。 ・報告書『飯能の遺跡(42)』については、3月までに刊行する。	<達成率90%> ・公共事業関連の発掘調査は担当課と調整し、年度内に終了すべき範囲は終えることができた。 ・民間・個人開発を原因とする試掘・発掘調査は、円滑に実施することができた。 ・報告書『飯能の遺跡(42)』を3月に刊行した。	< B 評価 > 計画に調整を要したが、概ね期待どおり。
	事業名 H24からの継続事業 埋蔵文化財調査の推進事業					<今後の課題等> ・複数の発掘調査にも対応できる調査体制の整備。 ・発掘調査の多寡に影響されない室内調査推進体制の整備。 ・関係各課とのさらなる連携と状況共有。

4. 体育課

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p> <p>H20からの継続目標</p>	<p>公民館を拠点としたウォーキングの取り組みを強化するとともに、幅広い年齢層に対応した魅力ある健康体づくり事業を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、健康政策課、体育協会等と連携し、市民参加の拡大を図る。</li> <li>・健康な生活を送るための体力の維持と向上を目的に、『バランスDE若さアップ』を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座、定員の90%以上の参加者。</li> <li>・エクササイズ・ウォーキング(ベーシッククラス)の開催により、新たな参加者の発掘を行う。</li> </ul>	<p>&lt;達成率100%&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスDE若さアップ講座については、定員を超える応募があり、会場の規模や用具の個数等を考慮し、定数以上の参加者により実施することができた。</li> <li>・体験を目的としたエクササイズウォーキングのビギナーコースについては、定員に達することはできなかったが、エクササイズウォーキング講座を継続して受講している方がウォーキングの楽しさを感じ、仲間を誘うことによりウォーキングを始める方や新たな受講者も少しずつ増えてきている。本事業を通してウォーキング人口の更なる増加が期待できる。</li> </ul>	<p>&lt; A 評価 &gt;</p> <p>事業計画どおりに実施することができたので期待どおり。</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エクササイズウォーキングを中心に計画的な健康体づくり事業の展開が必要である。</li> <li>・市民参加の拡大を目指すため、公民館、健康づくり推進室、体育協会との連携が更に必要である。</li> <li>・バランスDE若さアップ講座に代わる新たな講座を検討していく。</li> </ul>
	<p>事業名</p> <p>ウォーキングを基にした健康体づくりの推進</p>					
2	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p> <p>H20からの継続目標</p>	<p>全国から訪れる多くの参加者に満足してもらえるよう、安全で快適なツアーマーケットを実施する。また、第13回大会に向けた企画案を策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災復興応援として開催する。</li> <li>・“参加者2万人”の実現に向けて広く大会周知を進める。</li> <li>・実行委員会及び各担当会議を開催する。</li> <li>・安全で効率的な大会運営を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費の一部を義援金とする。また、募金箱を設置する。</li> <li>・市内外高等学校、新規立地企業、県内及び鉄道沿線自治体等にPRを行う。</li> <li>・各部会で役員と検討を進める。</li> <li>・大会運営の改善を進める。</li> <li>・新たな参加者の確保を目指した事業を実施する。</li> </ul>	<p>&lt;達成率100%&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース担当によるコース下見を実施し、第13回大会のコースを決定した。</li> <li>・2月に統括部会、実行委員会を開催し、参加者20,000人を目指した大会計画が決定した。</li> <li>・3月1日(土)から事前申込の募集を開始した。</li> <li>・新たな参加者の確保を目指した事業(ヤマネスス、近隣自治体ご当地グルメ等)を第12回大会同様に開催することを決定した。</li> </ul>	<p>&lt; A 評価 &gt;</p> <p>関係団体等との連絡調整や各担当での協議により、安全な大会運営ができたため期待どおり。</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、埼玉県ウォーキング協会等の主催団体、並びに後援団体、協力団体との連絡調整を確実にし、準備を進めていくことが必要である。</li> <li>・目標人数20,000人の達成に向けた実行委員会を挙げた募集活動を展開していく必要がある。</li> </ul>
	<p>事業名</p> <p>飯能新緑ツアーマーケット</p>					
3	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p> <p>H20からの継続目標</p>	<p>安全で競技性の高い第12回奥むさし駅伝競走大会を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込チームの増加に伴い、参加チームの決定方法を検討する。</li> <li>・実行委員会及び各部会を開催する。</li> <li>・効率的な大会運営を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技性を重視した参加チーム数の上限220チームの決定。</li> <li>・競技上の事故ゼロを目指す。</li> <li>・各部会で役員と検討を進める。</li> <li>・交通規制の事前周知を広く行う。</li> <li>・記録がスムーズになるよう計測業者と打ち合わせを行う。</li> <li>・大会運営の改善を進める。</li> </ul>	<p>&lt;達成率110%&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出場チームの上限220チームに対し、252チームの応募があったため、競技規程に基づき選考した。</li> <li>・事務改善や経費削減の観点から募集要項はホームページからダウンロードすることとしたが、苦情等はなかった。</li> <li>・前回大会の反省を踏まえ、各部会でスムーズな大会運営の検討を行い、実施した。</li> <li>・大会役員、競技役員、走路・周辺警備員及び多くの関係団体の協力により、競技上の事故も無く、盛大に開催することができた。</li> </ul>	<p>&lt; S 評価 &gt;</p> <p>募集要項をホームページからのダウンロードに切り替えるなど経費削減や事務改善が図れたため期待を上</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込チームの増加に伴い、参加チームの選考を基準に則り進めていくことが重要になる。</li> <li>・13回大会の反省点を整理し、運営方法の改善を進める。</li> <li>・引き続き交通規制の事前周知を広く行っていく。</li> <li>・経費削減については、関係各位との協議により検討していくことは必要だが、参加費の見直しを考える時期に来ている。</li> </ul>
	<p>事業名</p> <p>奥むさし駅伝競走大会</p>					
4	<p>体育課</p> <p>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組みます</p> <p>1 健康体づくりの充実</p> <p>H24からの継続目標</p>	<p>「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会及び中学校部会を開催する。</li> <li>・専門指導員を配置し、学校、クラブと調整を図り巡回ホッケー教室を開催する。</li> <li>・全中学校で体育授業のホッケー必修化を進める。</li> <li>・ホッケーのPR活動を実施する。</li> <li>・平成27年度開催の国体関東ブロック大会ホッケー競技の開催に向けて準備を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇話会委員と検討を進める。</li> <li>・専門指導員と職員による巡回ホッケー教室の開催。</li> <li>・各中学校体育主任と連携し、指導を進める。</li> <li>・市ホームページ、市民活動センター、メディアを活用したPR活動を実施する。</li> <li>・国体関東ブロック大会ホッケー競技の準備委員会を立ち上げる。</li> </ul>	<p>&lt;達成率100%&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回ホッケー教室 小学校：10校 中学校：6校 中学生放課後：1クラブ</li> <li>・全8中学校で先生との事前調整を行い、中学1年生は必修授業として授業を行った。</li> <li>・市HPや図書館のホッケーコーナーを活用し、『ホッケーのまち飯能』をPRした。</li> <li>・ホッケーのまち飯能推進懇話会を開催し、競技団体、学校関係者とともに意見交換を行った。</li> <li>・平成27年度開催の国体関東ブロック大会ホッケー競技の開催に向けて、準備を始めた。</li> </ul>	<p>&lt; A 評価 &gt;</p> <p>中学校での授業の必修化、ホームページ等によるホッケーの周知等、計画どおりに実施することができたので期待どおり。</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校でのホッケー授業について、引き続き学校関係者と調整を進める。</li> <li>・「ホッケーのまち飯能」推進計画に基づき、競技団体、学校関係者、教育委員会それぞれの役割に応じた主体的な取組を促していく必要がある。</li> <li>・平成27年度開催の国体関東ブロック大会ホッケー競技の開催については、早い時期に実行委員会を組織し、準備を進めていく。</li> </ul>
	<p>事業名</p> <p>ホッケーのまちづくり</p>					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等	
5	体育課	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者である飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体と連絡調整を進める。</li> <li>都市計画課と連絡調整を行う。</li> <li>都市計画課、指定管理者と協議を行い、修繕計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者との月例会議で検討を行う。</li> <li>指定管理者、都市計画課との会議で検討を行う。</li> <li>修繕計画を作成する。</li> </ul>	<達成率100%>	<A評価>	
	基本方針					<ul style="list-style-type: none"> <li>V スポーツ・レクリエーションの振興に取り組めます</li> <li>2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上</li> </ul>	施設の点検を行い、危険箇所の確認ができたので期待どおり。
	事業名					H20からの継続目標 都市公園運動施設の指定管理	<今後の課題等> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市公園運動施設において、利用者ニーズを捉えた自主事業を進める。</li> <li>都市公園を含めた業務範囲となる中で、一体的な管理運営を進めていく必要がある。</li> </ul>

5. 図書館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H25からの継続目標	利用者の調査・研究活動を支援するため、各種資料の充実を図るとともに図書館WEBサイトを活用した情報発信や駿河台大学と連携して図書館情報を提供する。	・新図書館の蔵書を充実する。 ・図書館WEBサイトから情報を発信する。 ・駿河台大学メディアセンターとの連携を強化する。 ・飯能市図書館サービス・運営計画(平成25年度～平成27年度)の改定準備及び評価指標の見直しをする。	・年間受入目標冊数を7,500冊とする。 ・図書館WEBサイトを年間50回以上更新する。 ・駿河台大学メディアセンターと市立図書館内に各館の紹介コーナーを設置する。 ・平成27年度に改定が行えるように現計画の内容を見直しに着手し、平成25年度実績に基づき評価指標の評価・見直しを行う。	<達成率95%> ・新図書館の3月末までの受入れ冊数は7,214冊だった。 ・WEBサイトは年間50回以上更新し目標を達成した。 ・駿河台大学メディアセンターと市立図書館に各館紹介コーナーを設置した。 ・現計画の内容の見直しに着手した。平成25年度の実績評価を行い、評価指標の見直しを行った。	<B評価> 情報提供については目標を達成したため概ね期待どおり。  <今後の課題等> WEBサイトの更新は目標を達成しているが、定期的な更新とWEBサイト以外も利用した効果的な情報発信の検討が必要である。 駿河台大学メディアセンターの市立図書館コーナーの積極的な活用が課題である。
	事業名 資料・情報提供の充実					
2	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H25からの継続目標	郷土館及び議会図書室と連携し、利用者の調査・研究活動を支援するため、カーリルタッチを活用して情報を提供するとともに、業務に役立つ図書情報を提供する。	・カーリルタッチを活用し郷土館と連携した事業を展開する。 ・議会図書室を窓口とした資料・情報提供サービスを実施する。	・館内に郷土館をテーマにしたカーリルタッチのタグを設置する。 ・飯能に関する新聞記事見出しを定期的に議会事務局に配信する。 ・図書館で購入した地方自治・地方行政・議会運営に関する図書のリスト・内容紹介を議会事務局に配信する。	<達成率100%> ・市立図書館内と郷土館内にカーリルタッチのタグを設置した。 ・「文化新聞」の記事見出しを平成26年4月～平成27年3月までをホームページで公開し、配信の代わりとした。 ・図書館で利用できるデータベースの紹介と地方自治・議会運営等に関する図書リストや利用案内を議会事務局に配信した。	<A評価> 郷土館等との連携を進めることができたため期待どおり。  <今後の課題等> 郷土館との連携事業は順調に進み、来年度につながる取組ができた。 上記2部署以外とも連携事業ができて図書館利用促進につながったため、来年度も連携を進めたい。
	事業名 郷土館・議会図書室との連携					
3	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H25からの継続目標	飯能に関するニュースを利用者に提供するため、ニュースを収集・整理して公開する。	・電子書籍化した文化新聞をインターネット上に公開する。 ・飯能に関する新聞記事のスクラップを行い、見出し記事をデータ入力する。	・館内に文化新聞閲覧システムを利用できるコンピュータを準備する。 ・館内に文化新聞閲覧システムを表示するカーリルタッチのタグを設置する。 ・飯能関連新聞見出しデータを図書館WEBサイトで公開する。	<達成率90%> ・館内に文化新聞閲覧システムを利用できるコンピュータとカーリルタッチのタグを設置した。 ・「文化新聞」の記事見出しを平成26年4月～平成27年3月までをホームページで公開した。 ・文化新聞以外の新聞について同様のデータを作成している秘書広報課と調整したが、見出しの公開はできなかった。	<B評価> 「文化新聞」については記事見出しの作成、公開ができたため概ね期待どおり。  <今後の課題等> 「文化新聞」以外の新聞について飯能関連記事見出しの作成・公開が課題である。また、文化新聞閲覧システムの利用促進も今後の課題となっている。
	事業名 飯能に関するニュースの収集と発信					
4	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 新規目標	利用者の利便性の向上を図るため、資料の貸出や返却ができる施設や場所を増加させる。	・青梅市立図書館との相互利用を開始する。 ・飯能駅サービスコーナーで図書の返却が受け付けられるようにする。 ・移動図書館の駐車場を増加させる。	・青梅市との相互利用協定を取り交す。 ・飯能駅を巡回する連絡便を週3回以上巡回する。 ・移動図書館の駐車場を1箇所以上増加する。	<達成率95%> ・青梅市との相互利用協定を締結し、サービスを開始した。 ・飯能駅サービスコーナーでの本の返却については関係部署と協議中。 ・移動図書館の駐車場を3箇所増加した。	<B評価> 青梅市との相互利用を開始するなどサービスの拡充が図られたため概ね期待どおり。  <今後の課題等> 青梅市との相互利用サービスを開始できた。今後は情報交換を行いながらサービスの向上に努めたい。 移動図書館駐車場を増加し、利便性の向上を図ったが、図書館から遠方に住む市民のためのサービスが課題となっている。 駅サービスコーナーでの返却は来年度も協議を進め実現する必要がある。
	事業名 図書館サービスを提供する施設・場所の充実					
5	図書館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2生涯学習機会の充実 H25からの継続目標	幼児・児童・生徒に図書とふれあう機会を多くもってもらうために、「飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館・保育所などと連携して読書活動を推進する。	・幼児・児童・生徒に図書館の使い方を知らせてもらうため、図書館見学や出前講座などを実施する。 ・調べ学習用図書セットを整備し団体に貸出しをする。 ・飯能市子ども読書活動推進計画(平成22年度～平成27年度)の改定準備をする。	・図書館見学10団体以上実施、出前講座5団体以上実施を目標とする。 ・20テーマの調べ学習用図書セットを準備し年間20回以上の貸出を目標とする。 ・平成27年度に改定が行えるように現計画の内容を見直し、評価指標設定の検討に着手する。	<達成率100%> ・図書館見学23団体、出前講座6団体を実施した。 ・調べ学習のための団体貸出を41回行った。(調べ学習用図書セット6回、それ以外35回) ・現計画の内容見直しの検討に着手した。	<A評価> 学校図書室等との連携を図り、目標を達成したため期待どおり。  <今後の課題等> 学校、保育所、幼稚園等との連携を増やす事は今後の課題である。また、調べ学習用図書セットの利用促進に努めたい。
	事業名 学校図書室等との連携					

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
6	図書館	図書館ボランティアの安定した組織運営が図れるように、新たなボランティアの登録や研修等の実施に対して支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに登録希望者を募集する。</li> <li>・能力向上のための研修を開催し、より幅広い活動ができるように支援する。</li> <li>・図書館の様々な事業の運営に参加してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動の説明会を実施して新たな登録希望者を受け付ける。</li> <li>・接遇、修理、読み聞かせ等外部講師を招いて図書館業務研修を実施する。</li> <li>・映画会や各種講座など図書館行事の企画運営のほか、図書館の美化活動にも参加してもらう。</li> </ul>	<p>&lt;達成率 100%&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動説明会を実施し、ボランティアの増加につながった。</li> <li>・外部講師による講座を開催し能力向上をはかった。</li> <li>・映画会や各種講座など図書館行事の企画運営や美化活動に参加してもらうことができた。ボランティア企画の資料展や他図書館のボランティアとの交流を図った。</li> </ul>	<p>&lt;A評価&gt;</p> <p>ボランティア支援を行うことができたため期待どおり。</p> <p>&lt;今後の課題等&gt;</p> <p>ボランティアの人数も増え、活動も軌道に乗ってきたため、内規の作成など組織として安定するための取組が必要である。職員とのコミュニケーションの促進も課題である。</p>
	基本方針					
	IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます					
	4 学習成果の還元					
事業名	新規目標	図書館ボランティアの支援				

7. 公民館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	地域ニーズや地域の課題を捉えて、地域資源の活用などによる講座を開催する。	地域の特性を生かした講座を開設するため、公民館講座へ要望や地域課題を捉える機会を積極的につくり、市民満足度の向上を図れる講座を計画する。	市民の要望や地域課題を捉えた講座を1講座以上開催する。	<達成率100%> 地域の課題・要望を捉えた事業を各館で1回以上実施した。特に、加治地区では3館が連携し事業を開催している。	< A 評価 > 予定した事業を実施できたので期待どおり。  <今後の課題等> 地域の課題・要望については、どの視点で見えるかによるため、偏りのない地域課題・要望をしっかりと見極める必要がある。アンケート調査も必要である。
	事業名 学級講座の充実					
2	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	生涯学習の推進のため、地域ニーズに合った情報発信を進める。	公民館(地区行政センター)だよりやホームページなど、様々な機会を通し情報発信を積極的に行う。	公民館(地区行政センター)だよりを月1回以上発行する。また、ホームページによる情報発信の充実を図り、「見える化」を進める。	<達成率100%> 「公民館だより」は各館とも毎月1回発行した。また、ホームページによる情報の発信もそれぞれの館で工夫を凝らし実施した。	< A 評価 > 目標を達成できたので期待どおり。  <今後の課題等> ホームページの活用については、各館で情報の発信に差が生じている。取扱者のレベルを上げる必要がある。
	事業名 学習相談体制の充実					
3	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	学校や地域の団体などとの連携による講座を開催する。また、トレーニングキャンプを全館で実施する。	学校や各種団体と連携した事業推進のため、関係機関との連携事業を計画する。	年度内に防災関係を含め新たに1講座以上開催する。また、トレーニングキャンプについては、平成28年度までに全館で実施する。	<達成率95%> 前期では進めていなかった、各地域内の小中学校との防災連携については、全館で動き始めた。また、トレーニングキャンプについては、当初予定していた館で実施することができた。	< B 評価 > トレーニングキャンプを当初予定した5館で実施できたのは期待どおり。  <今後の課題等> 各種団体との連携が必要であるが、今後は避難マニュアル策定に向け、特に小・中学校との強力な連携が必要になってくる。
	事業名 学校との連携					
4	公民館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 2 生涯学習機会の充実 H22からの継続目標	健康増進のため、野菜を活用した食育講座の開催やウォーキング講座によるウォーキング人口の拡大を図る。	市民の健康に対する意識が高まり、様々な健康づくりの機会が求められていることから、関係機関・団体と連携し、健康増進に関する講座を計画する。	公民館ごとに作成したウォーキングマップを活用した身近に出来るウォーキング講座を開催し、健康チェックを実施する。また、新規参加者500人以上を目指す。ウォーキング事業の開催に当たっては、他の公民館と共同開催し、公共交通機関等も利用する。また、野菜を活用した食育に関する講座を新たに1回以上開催する。	<達成率97%> ウォーキングマップを活用した事業については、全館で実施できなかった。健康チェックについても全館では実施できていない。また、新規参加者は、目標の500人を大幅に上回る912人であった。他の公民館との共催や公共交通機関の活用も行った。野菜3倍の関係では、グルメコンテストを全館で実施し、好評であった。	< B 評価 > 健康チェックを全館で実施できなかったが、新規参加者の目標は達成できたため概ね期待どおり。  <今後の課題等> 市民の健康を重視し、この目標ができています。よって、事業を進めるにあたりもう一度基本に戻ることが必要である。しかし、新規参加者が多くなっている現状では事業を改めない方が良いのか見極める必要がある。
	事業名 健康増進講座の充実					

8. 郷土館

No.	重点施策名	目 標	課題・達成方法 (何をどのようにするのか)	達成指標 (どこまでするのか)	達成報告 (結果はどうか)	評価/今後の課題等
1	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	まちづくりに生かすことのできる情報提供の1つとして、特別展「機屋の挑戦(仮称)」の充実を図る。	飯能市内で、所沢織物(木綿織が主体)を製造していた機屋(小槻工場)の経営戦略にクロスアップした展示である。あわせて明治後期から昭和初期にかけての、木綿織物の変遷についても紹介する。	・特別展の1日平均入館者数105人以上であること。 ・入館者のアンケートによる満足度75%以上であること。	<達成率100%> 1日平均入館者104.0人、アンケートに「展示内容がよかった」と記された割合は75%だった。 入館者数はこれまでの特別展に比べてやや少なかったが、織物の品質向上や新製品の開発などに挑戦する姿を示し、飯能の隠れた歴史を伝えることができた。	< A 評価 > 入館者数、満足度も期待どおり。
	事業名 特別展の充実					<今後の課題等> 広報活動については、記者発表資料の送付、ポスターの掲示、ホームページでの周知などに努めているがまだまだ十分でなく、その充実が課題である。
2	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	市民との協働による郷土館活動をさらに充実するため、第四期市民学芸員(博学連携型)、第七期市民学芸員(麦作文化探求型)をそれぞれ養成する。	博学連携参加型としては、3回目となるが、これによって小学3年生見学対応をより充実させようとするものである。また、麦作文化探求型は、実際に麦作りを行いながら、本市域の食文化を調べ、伝承することを目的とする。	・博学連携参加型、麦作文化探求型とも応募者が定員の8割を上回ること。 ・いずれも参加者の7割が市民学芸員として認定されること(養成講座の出席率70%以上で認定)。	<達成率120%> 最終的に、博学連携参加型11人、麦作文化探求型18人を認定することができた。両方あわせて、当初募集定員35人の70%(24人)を超える29人を認定することができた。博学連携の追加により、小学生対応事業が充実できるとともに、麦作文化が新たに追加されたことで、活動内容が広がった。	< S 評価 > 予想以上の市民学芸員を認定でき、かつ、活動の質が広がったため、期待を上回った。
	事業名 市民学芸員の新規養成					<今後の課題等> 市民学芸員は当館の特徴的な制度であり、今後も引き続き充実させる必要がある。認定者ができだけ長く活躍できるような配慮が必要である。
3	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	名栗地域の資料に関する調査研究、収集保存の成果として、名栗くらしの展示室を開設し、ここを利用した体験学習会等の普及事業を充実させる。	名栗村合併10周年記念として名栗くらしの展示室を開設する。当館と名栗公民館共催による体験講座を実施するほか、エコツーリズムや地域の団体等による学習会の開催、利用を促す。	・名栗くらしの展示室を利用した講座を3回以上開催すること。 ・上記講座の参加者がのべ30人以上であること。 ・くらしの展示室がエコツーリズムや地域の学習団体によって1年間に10日以上利用されること。	<達成率90%> 展示室のエコツーリズム等での利用や各種団体の視察が年間10回あった。展示室を利用した講座は2月に名栗小学校3、4年生向ものを1回、3月に子ども対象の講座を1回開催し、参加者は合計27人。いずれも目標をやや下回った。オープニングセミナーは盛況だったが、その後の利用については、再考が必要。	< B 評価 > 講座回数、人数が目標をやや下回ったが、他の利用は多く、概ね目標を達成できた。
	事業名 H25からの継続目標 名栗くらしの展示室の開設と事業展開					<今後の課題等> 今年度開設された名栗のくらしの展示室の存在を多くの人に広めることが引き続き必要である。これと同時に、この場を利用した体験講座を地域の人を巻き込んで開催できるような仕組みづくりが課題となる。
4	郷土館 基本方針 IV「生涯学習のまち・飯能」を目指して取り組みます 3 地域学習の充実	まちづくりに生かすことのできる情報提供の1つとして、平成27年度の武蔵野鉄道開通100周年にむけて当館での特別展の準備を進めるとともに、大きな事業にするように市内外に働きかける。	西武鉄道(株)の協力を得て、特別展の資料調査をすすめる。さらに、西武鉄道(株)、飯能市企画調整課などと協議して事業の仕組み作りを行うとともに、沿線各市との調整をすすめる。	・西武鉄道株式会社と本市における記念事業の枠組みを10月末までに決定すること。 ・3月末までに、特別展で展示可能な資料リストを作成すること。	<達成率100%> 西武鉄道をはじめとして、関係する機関での資料調査はほぼ終了し、展示可能な資料はリスト化できた。 記念事業については12月以降企画調整課が主体となり、各課によびかけイベントの内容等を検討し始めた。27年4月12日には開業100周年のセレモニーを開催する運びとなった。	< A 評価 > 予定していたおりの準備ができたので期待どおり。
	事業名 武蔵野鉄道開通100周年記念事業の準備と調整					<今後の課題等> 来年度特別展開催となるため、内容の充実を図るとともに、積極的な広報等活動を展開する必要がある。また、予定している記念イベントを通して、より多くの市民に鉄道が引けた意義を伝えるように工夫する。